



2019年5月10日

各位

会社名 大同工業株式会社
 代表者名 取締役社長 新家 康三
 (コード番号 6373)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 菊知 克幸
 (TEL. 0761-72-1234)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、特別損失を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年5月14日に公表しました2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の個別業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

- 特別損失の計上について
 2019年3月期連結会計年度において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、経営環境の変化等の影響を受け継続して営業損益の悪化となっている連結子会社(Daido Corporation of America)の一部の固定資産(設備機械等)について、将来収益を保守的に見直した結果、特別損失として減損損失495百万円を計上いたします。(連結)
- 業績予想の修正について

(1) 個別業績予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日) (単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当り 当期純利益
				円 銭
前回発表予想(A)	24,000	1,600	1,200	127 35
今回修正予想(B)	24,218	779	1,214	116 29
増減額(B-A)	218	△821	14	—
増減率(%)	0.9	△51.3	1.2	—
(ご参考) 前期実績(2018年3月期)	23,972	1,717	373	39 64

修正の理由

経常利益につきまして、直接費の低減や生産効率の改善、経費削減等により挽回に努めたものの、副資材価格、運賃、電力料等の高騰や、付加価値の高い四輪車用製品の売上が中国において低調に推移していること等による営業利益減少の影響を受けて、前回予想を下回る見込みであります。

なお、当期純利益につきましては、2019年3月29日に開示いたしましたとおり、当社が保有する上場有価証券の一部を売却し、特別利益として投資有価証券売却益を計上したことにより、ほぼ計画どおりとなる見込みであります。

上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上